

#生活者動向
#脱プラ
#おやゆびアンケート

オリジナルWEB調査「おやゆびアンケート」レポート プラ製レジ袋有料化から1年、 消費者の本音とは。

2020年7月1日にプラ製のレジ袋が有料義務化され、1年が経過しました。世界中で脱プラが推進されており、日本にもその流れはやってきています。今回は、脱プラに関する生活者の声を拾いました。

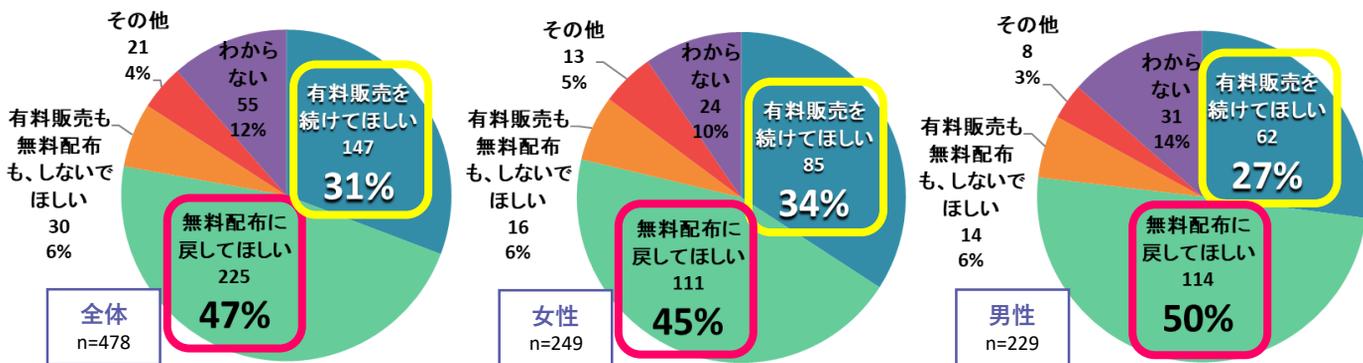
レジ袋有料化に好意的な割合は女性の方が高い。

第一紙行では、全国の様々な年代478名に「脱プラ」に関するウェブアンケートを行った。「プラ製レジ袋有料化」について尋ねたところ、全体

で約47%が「無料配布に戻してほしい」と有料化に反対の姿勢だったが、約31%はこのまま「有料販売を続けてほしい」と思っており、さらに

男女別で「有料販売を続けてほしい」割合は女性約34%・男性約27%と、約7ポイント女性の方が多く、有料化には女性の方が好意的なようだ。

■プラスチック製のレジ袋が有料義務化され約1年がたとうとしています。
プラ製レジ袋の有料化についてどう思いますか？



「脱プラ（脱プラスチック）に関するアンケート」期間：2021年6月25日～2021年7月1日、回答者数：478名

お店のノベルティやプレゼントのエコバッグもかなり使われている！

プラ製のレジ袋に代わり、必要となる「エコバッグ」。よく使用しているエコバッグの入手方法を尋ねたところ、最も多いのは「自分で購入した」

（全体54.8%・女性65.5%・男性43.2%）だが「お店のノベルティでもらった」や「人からもらった」も少なくない。デザイン性・携帯性・保冷機

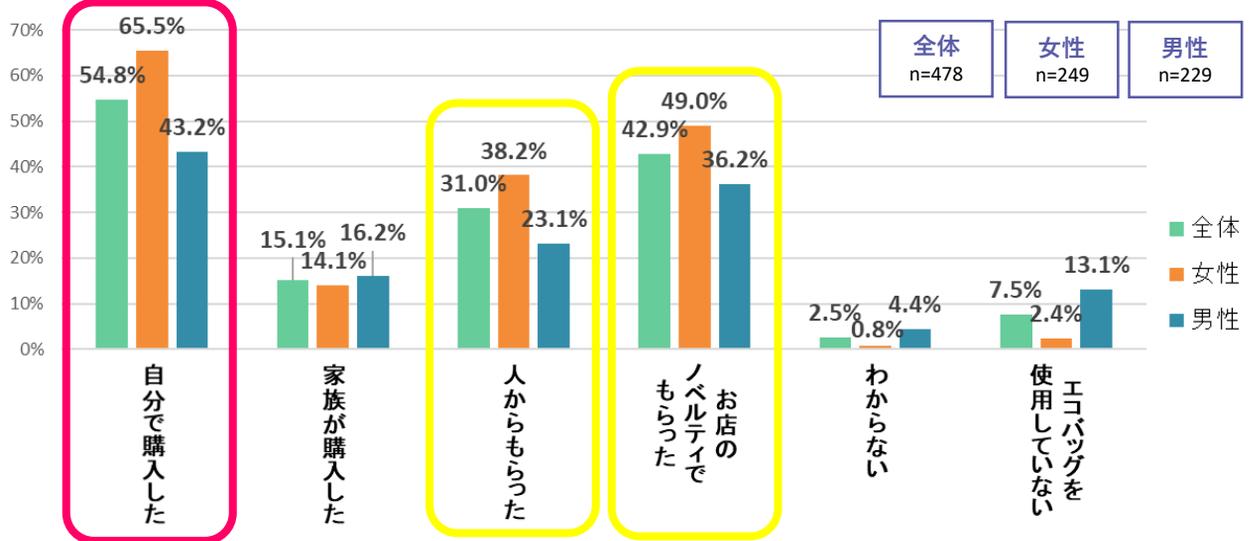
能付きなどのエコバッグのプレゼント企画や、それ自体の販売、バッグとセットになった商品をラインナップに加えるのも効果的だろう。

[グラフ次ページへ>>](#)

プラ製レジ袋有料化から1年、消費者の本音とは。

■現在よく使用しているエコバッグの入手方法をお教えてください。

※複数個メインで使用している場合は、あてはまるものをすべてお選びください。



「脱プラ（脱プラスチック）に関するアンケート」期間：2021年6月25日～2021年7月1日、回答者数：478名

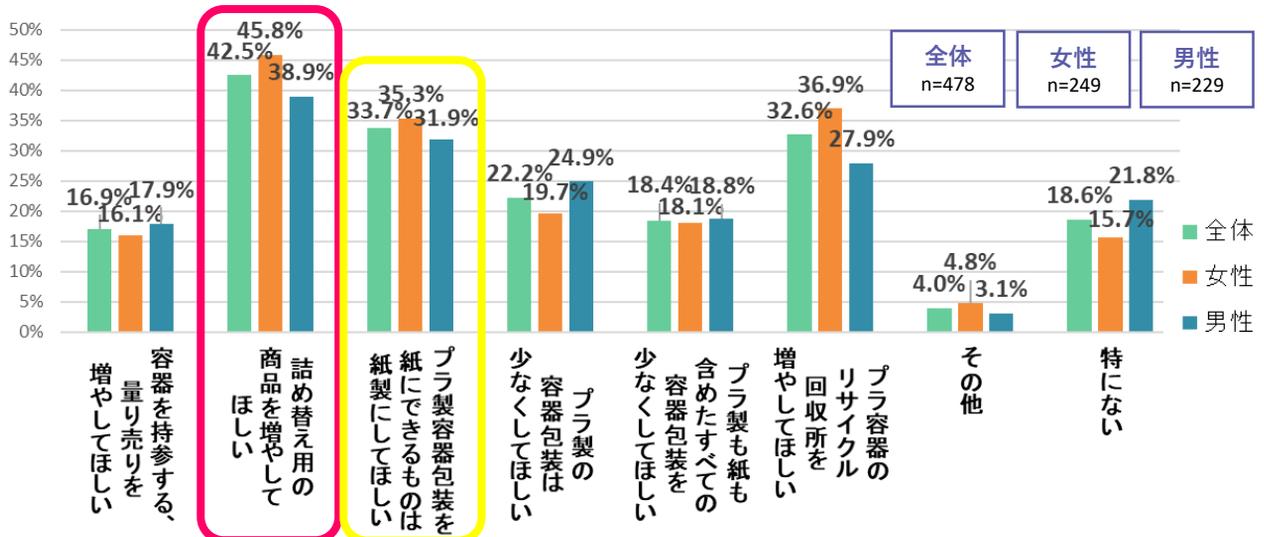
生活者の声を反映した脱プラへの取り組みを進められているか。

脱プラ社会に向け、企業に推進してほしい取り組みを尋ねたところ、最も多かったのは「詰め替え商品を増やしてほしい」だった。そのまま使え

る容器は便利だが、その分コストも高くなり、使い捨ては無駄と感じる生活者も多いようだ。次に、約3割が「プラ製容器包装を紙にできるもの

は紙製にしてほしい」と答えている。脱プラへの意識は高く、今後は生活者の声を反映した脱プラへの取り組みが、重要となってくるだろう。

■脱プラスチック社会に向けて、今後、増やしてほしい・推進してほしい取り組みをお選びください。



「脱プラ（脱プラスチック）に関するアンケート」期間：2021年6月25日～2021年7月1日、回答者数：478名